

共生ホーム

2014年6月15日

# ひまわりの家

第64号



西淀川区佃1-10-16

(Tel) 6474-8788 (fax) 6474-8796

(E-mail) enchi@himawaritsukuda.jp

第4回

ひまわりまつり

共生ホームひまわりの家

学童っ子たち



4月20日「第4回ひまわりまつり」を開催しました。  
 共生ホームひまわりの家を開設して、  
 満4年になります。  
 この4年間にいろいろな方と出会い、  
 この共生ホームひまわりの家で生活を  
 共にしてきました。  
 「いっまでも安心してふつこの暮らし  
 ができ、人間としての尊厳を守り、市  
 民的自由のある生活」を掲げて、この4  
 年間何ができたのか、来年の5周年に  
 向けて、この問題を考えて行きたいと  
 思います。  
 たくさんの方との出会い、別れの中で  
 ひまわりの家の理念は間違っていない  
 ことを確信できました。  
 この理念をこれからも皆さんとともに  
 共有できれば幸いです。

遠地 昭典)

## デイサービス★ボランティア 募集

赤ちゃんからお年寄りまで一つの屋根の下で過ごす居場所です。  
 あなたも一緒に過ごしませんか。 気楽にご連絡ください。  
 お話相手、利用者とお散歩に、入居者の夕食配膳のお手伝い、  
 庭の花や植木の手入れ、水やり等々  
 (連絡先) (Tel) 6474-8788 (FAX) 6474-8796



## ひまわりの家ふれあいバザー&自然市



とき 2014年6月29日(日) AM10:00~12:00  
 ところ 共生ホームひまわりの家

**自然市** 名張市の無農薬、有機栽培にこだわる農家より仕入れた野菜等の販売です。赤目ひまわりの畑で採れた野菜も販売します。  
 旬に採れる野菜です。特売はジャガイモ、タマネギ、キュウリ、なすび 等々・・・



赤目のひまわり農園

**たまご** (平飼い、有精卵) もあります。

鶏舎は緑に囲まれた里山で、にわとりは雄鶏もいっしょに走りまわっています。有精卵なのでお母さんどりに抱かせるとひよこがかえります。力のあるたまごです。

**リサイクルバザー** バザーで掘り出し物を楽しんでください。

ご家庭に眠っている不要品があれば提供してください。  
 ご連絡いただければ伺います。 共生ホームひまわりの家の運営資金にご協力ください。

### 健康食品販売

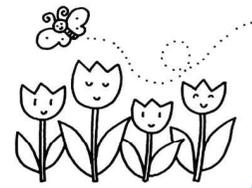
信頼できる業者より格安に購入した下記の健康食品を販売します。

**スーパー醗酵にんにく**  
 500g入(定価8,190円) 5,800円  
 300g入(定価5,040円) 3,900円

**スーパーイボスティ**  
 1リットル用(4.5g)×30p  
 (定価2,625円) 2,000円

# 第4回ひまわりまつり

2014年4月20日(日)  
共生ホームひまわりの家



学童保育のお店、ポテトフライ、おでん、ミルクせんべい、ビールなど…



日本舞踊  
佃地域の「新婦人の会」の皆さん



共生ホームひまわりの家  
開設4周年を迎えて

いつもひまわりの家にご協力いただきありがとうございます。  
共生ホームひまわりの家は、今年4周年を迎えることになりました。  
地域の皆さんの暖かいご支援をいただき、4周年を迎えることを感謝します。  
今年はさらに大きく輪を広げ、地域に安心して住み続けられるまちづくりをめざし、みなさんと一緒に活動して行きたいと思えます。  
これからもよろしくお願ひします。

代表者 遠地 昭典

文化行事プログラム  
(12:10開演)  
主催者挨拶・ひまわりの家紹介  
オカリナ演奏  
植生の宿 故郷  
フルーツ演奏  
さんぼ 鯉のぼり 花は咲く  
日本舞踊  
サザンカコーラス  
どこかで春が 早春賦  
学童っこのだしもの(佃西学童)



サザンカコーラスの演奏

ディールームから…

共生ホームをつくり育てる会  
会長 門谷 充男

2008年1月、子ども、障害者、高齢者がともに普通の生活ができる、ノーマライゼーションの理念に基づいたまちづくりをめざし、そのために住まい、施設となる「共生ホーム」をつくり、その担い手を育成する目的を持って「共生ホームをつくり育てる会」が結成されました。  
その年の夏、育てる会のメンバーで富山市の「デイケアハウス」にぎやかを訪問したことが「共生ホームひまわりの家」建設の大きな契機になりました。  
昨年富山市で開かれた「第6回地域共生ホーム全国セミナー」に参加して、改めて乳幼児学童からお年寄りまで、障害のある人もない人も、スタッフも利用者もともに一つの屋根の下に同じい生きる、そこにはその人なりの居場所があつて、一人一人が輝いている、そんな「共生ホーム」の理念を再確認しました。  
開設4周年を迎えても、まだまだ試行錯誤の連続です。文字通り「共生ホーム」の名に値する施設となるために、育てる会の趣旨に賛同され、支援していただいている方々、スタッフ、利用者さんとともに「共生ホーム」の理念の共有化を図っていききたいと思ひます。

